

## 基本目標4 交流とにぎわいのあるまち

- ・店舗魅力アップ改修事業費補助金 6,500万円  
市内に店舗を有する中小企業者が行う店舗改修に要する経費の一部を支援することで、店舗の魅力向上を図り誘客につなげる。
- ・中心市街地商業等活性化推進事業 1,600万円  
まちなかリノベーション推進計画を具現化するため、民間が実施する各種事業への支援を行う。また、旧久保町簡易水道施設跡地をポケットパークとして暫定整備する。

### ・観光振興事業 3,007万7千円

映画・ドラマ等のファンへの認知拡大や誘客を図るためのロケ誘致促進、若年層の誘客を推進するためのインフルエンサー等による情報発信を行う。また、大阪・関西万博来場者の本市誘客を図るため、出展にかかる企画コンテンツの造成等を行う。

### ・企業立地推進事業 4億6,059万3千円

積極的な企業誘致を推進し、雇用を確保するとともに、地域産業の高度化及び経済の活性化を図る。

## 基本目標5 快適で暮らしやすいまち

- ・交通対策事業 1億3,675万8千円  
地域の生活交通を確保するため、自主運行バス事業を行うとともに、地域の実情に合った交通サービスの維持、利用促進を実施する。また、運転手不足や運転手の高齢化の課題解決のため、国の補助金を活用し自動運転バスの実証実験を行う。



### ・東駿河湾クラフトビール地域循環共生圏推進協議会負担金 600万円

地域経済の発展と地域の魅力向上を図ることを目的に、クラフトビールを活用した地域循環型社会の形成のための経費の一部を負担する。

### ・長伏公園整備事業 2億2,060万5千円

再整備する長伏公園のシンボルとなる大型複合遊具の設置工事と大型複合遊具周辺への芝生の設置、長伏グラウンドC周辺への屋外トイレの設置を行う。

## 基本目標6 共に創る持続的に発展するまち

- ・公式ホームページ広報事業 4,067万円  
アクセシビリティに配慮した誰もが使いやすく、便利なホームページへのリニューアルを実施する。
- ・働き方改革推進事業 448万5千円  
職員のワークライフバランスを実現するとともに業務効率の向上を図る。令和7年度は会計年度任用職員を含む全ての職員を対象に勤怠管理システムを導入し、出退勤管理事務の全庁的な効率化を図る。

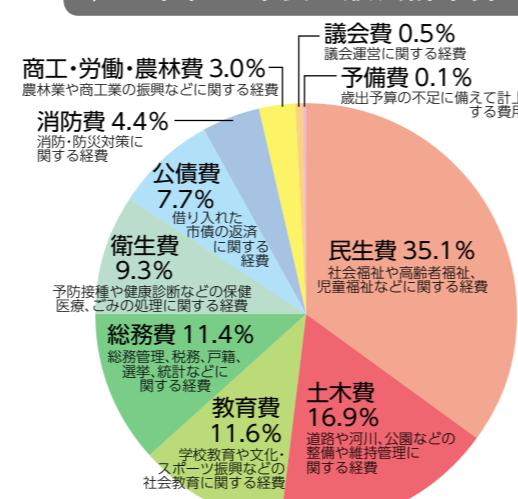
### ・総合計画策定事業 575万3千円

現行の第5次三島市総合計画前期基本計画は、令和7年度末に期間が満了するため、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画を策定する。

### ・スマート市役所推進事業 2,916万3千円

「三島市スマート市役所宣言」に基づき、デジタルファーストによる便利で質の高い市民サービスの提供、生産性の高い行政運営、産業の活性化や産官学民が連携したまちづくりに取り組み、自治体DXの推進を図る。

## 令和7年度お金の使い方



※令和7年度会計別予算の金額は、調整により万円未満を四捨五入して表記しています。  
※各基本目標でとりあげている事業は、「令和7年度予算案の大要」を基に記載しています。

## 令和7年度 三島市の予算

# ひとり一人が輝き活気あふれる ウェルビーイング推進型予算

三島市議会2月定例会で令和7年度予算案の審議を行い、原案どおり可決されました。  
一般会計予算は過去最大の483億5千万円で、前年度対比7.3%増となりました。  
第5次三島市総合計画に沿った令和7年度の主な事業を以下で紹介します。  
また、決算審査を踏まえて市議会から市長に提出した令和7年度予算編成に向けての意見・要望に対する回答については市議会ホームページをご覧ください。



## 基本目標1 安全・安心に暮らせるまち

- ・消防ポンプ自動車等更新事業 2,689万3千円  
老朽化が進んでいる第8分団（夏梅木）の小型動力ポンプ付積載車を中継送水能力に優れる消防ポンプ自動車に更新する。
- ・防災訓練事業 1,022万6千円  
被災者支援事務の効率化、受援体制の強化、援護漏れの防止等を図るために、新たな被災者生活再建支援システムの構築を進める。

### ・都市下水路整備事業 1億4,300万円

都市下水路に流れ込む雨水を大場川へ強制排除する竹ノ下ポンプ場の1号機主ポンプ改築工事を実施する。また、徳倉都市下水路について、土地利用の変化や降雨の激甚化を踏まえた浸水原因の解析を行う。

### ・消防団運営事業 3,946万7千円

消防団が安全で円滑に活動できるよう、資機材の整備等を行うほか、活動支援アプリの活用等により活動の安全性、機動性を確保する。また、新規団員募集のため、新たにWEBやSNSでの広告配信を行う。

## 基本目標2 健康で福祉が充実したまち

- ・こども誰でも通園制度推進事業 1,057万9千円  
令和8年度からの新制度創設に先駆けて、令和7年夏頃の開始をめどに、加茂川町保育園において0歳6ヶ月～満3歳未満で保育所等に通っていない未就園児の通園を試行的に受け入れる。



### ・スポーツ推進事業 1,225万7千円

スポーツ健幸都市宣言記念事業として、市民がスポーツに関わる機会を創出するため、市と連携する企業や団体、プロスポーツチームとの共創により、年間を通じてスポーツイベントを開催する。

### ・市営長伏グラウンド整備事業 5億5,340万円

夜間照明設備の更新、内外野の人工芝への張替え、給排水設備の改修、防球ネットの張替え等を行い、安全かつ快適な利用環境を確保する。

## 基本目標3 未来につなぐ人材を育むまち

- ・不登校対策事業 3,650万1千円  
小中学校の不登校対応のため、生涯学習センター内の「ふれあい教室」にて学習支援を行う。また、新たに錦田中学校に校内支援室を設置する。
- ・部活動振興事業 1,238万5千円  
部活動の地域連携を段階的に推進するため、新たに部活動コーディネーターを配置する。また、引き続き部活動の一環として東海大会や全国大会に出場する生徒が在学している中学校に賞賛金を交付する。

### ・クリエイティビティ推進事業 707万円

市民が自主的・自発的に行う文化活動が盛んになるよう、啓発・支援する仕組みの構築や、子ども達の創造性や想像力、コミュニケーション能力を育むクリエイティブ教育を推進する。

### ・向山古墳群整備活用事業 310万円

県指定史跡である向山古墳群について、国指定史跡への指定を目指し発掘調査等を行う。令和7年度は16号墳の形を確定するための発掘調査及び地形測量業務を実施する。